

新聞等で話題になった関連事例

1 レゴランドでの入店拒否

- ・ 平成30年4月に、テーマパーク「レゴランド・ディスカバリー・センター 東京」を訪れた聴覚障害者4名が、健常者の付き添いがいないことを理由に、入場を拒否された。
- ・ 4名は、全日本ろうあ連盟に相談し、連盟は国に対応を求めた。
- ・ 経済産業省は、本年6月、障害者差別解消法に反するとして口頭で注意した。
- ・ 運営会社は、「誤った認識を抱いていた」と関係者に謝罪

2 熱海市の施設での宿泊拒否

- ・ 静岡県熱海市立の青少年宿泊施設で、平成30年1月、聴覚障害者の団体宿泊の申込を「安全が確保できない」として断った。
- ・ 宿泊を希望したのは全日本ろうあ連盟青年部で、7月中旬に聴覚障害者約100名が宿泊予定だった。
- ・ 手話通訳者を介して、施設の空き状況を問い合わせたところ、付き添いの有無などを聞かれ、「聴覚障害者のみ」であることを告げると、「他の施設を利用してください」と断ったとのこと。
- ・ 市教育委員会が、同協会に「対応した職員が障害者差別解消法を知らず、配慮が足りなかった」と謝罪

3 コンサート入場における療育手帳の扱い

- ・ 今年開催されたコンサートツアーの入場時に、身分証として療育手帳（愛の手帳）を提示したところ、身分証として認められず、入場が出来なかった。
- ・ 電子チケット業務を請け負った株式会社ボードウォークは、当初、障害者手帳が身分証として有効との説明を行っていた。
- ・ 同社は、入場を断られた方に対して、チケット代金を返金することとした。

4 ユニバーサルデザイン（UD）タクシーでの車椅子利用者の乗車拒否

- ・ 車椅子に乗ったまま利用できるUDタクシーを利用しようとした際に、運転手が乗降用スロープの使い方を知らず、車椅子利用者の乗車を拒否する事例が相次いでいるとして、国土交通省がタクシー事業者に改善を求める通達を出した。

5 車椅子でのワイン試飲拒否

- ・ 西武池袋本店で、平成30年8月、手動車椅子の男性が、ワインを試飲できるコーナーにて2杯目の試飲を行っていると、店員に「車椅子及び電動車椅子でご来店のお客様の試飲は、ご容赦ください」と書かれた紙を渡され、試飲をやめるよう求められた。
- ・ 男性側は、後日、文書で改めて抗議したところ、当該事業者は、2年前に開いたイベントで、ワインを試飲した電動車椅子利用者が他の客の足をひいたり、販売員の足に接触したりする事故が起きたと説明
- ・ 男性は、車椅子利用者であることを理由に、ワインの試飲をやめさせられたとして、百貨店及びテナントに損害賠償を求めて提訴